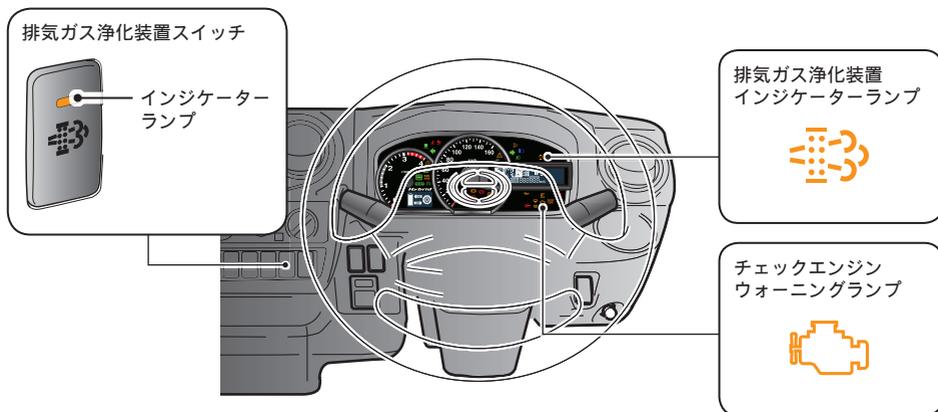


DPR (排出ガス浄化装置)

関連装置配置図とウォーニングについて



※標準キャブの場合

DPR (排出ガス浄化装置) システムウォーニング

 インジケータランプが常時点滅したら **150 km 走行以内**に下記の作業を行ってください。(手動クリーニング操作)

1



安全な場所に停車

※排気口付近に可燃物がないことを確認してください。

2



- ・パーキングブレーキレバーを引く
- ・チェンジレバーをMT車、ATM車はN位置に、AT車はR位置に
- ・エンジンアイドル運転

※PTO 装備車はPTO スイッチまたはPTO コントロールレバーをOFF

3



スイッチを押す
(クリーニング開始)



(点滅→点灯)

アイドリング回転数上昇
エキゾーストブレーキ作動

- ・ インジケータランプが点滅から点灯に変わります。
- ・アイドリング回転数が上昇し、エキゾーストブレーキが作動します。
- ・15分～20分お待ちください。

4

 インジケータランプが消灯、アイドリング回転数が元に戻ったら**クリーニング終了**

DPR (排出ガス浄化装置) の詳細については、取扱説明書をお読みいただくか、最寄りの日野整備工場へお問い合わせください。

⚠ 注意

- ・インジケータランプを点滅させたまま、スス燃焼（再生）処理を行わず走行を続けるとブザーが鳴ります。すみやかに燃焼（再生）処理を行ってください。ブザーが鳴ったまま走行を続けると、チェックエンジンウォーニングランプが点灯します。点灯したときは、できるだけ早い時期に最寄りの日野整備工場で点検・整備を受けてください。
- ・ススの燃焼（再生）処理中は、アクセルペダルを操作しないでください。ススの燃焼（再生）処理が終了する前に、アクセルペダルを踏み込んだり、空ぶかししたりすると、ススの燃焼（再生）処理が中断されます。処理中に作動が停止してしまった場合は、もう一度操作をやりなおしてください。

が表示されたら日野整備工場へご連絡ください。

⚠ 注意

を表示したまま走行（稼働）を続けると故障につながります。すみやかに日野整備工場にお越しください。

以下の現象は故障ではありません

**アイドリング回転数が変化することがあります。
同時にエキゾーストブレーキが作動します。**

- ・走行中に信号待ちなどで停車し、アイドリング運転に移行したとき。
（自動クリーニング中）
- ・長時間（約30分以上）アイドリング運転を続けたとき。
（白煙発生防止のため、ときどき回転数が上昇します）

白煙が発生することがあります。

- ・水蒸気が排出されるためです。
- ・排気温度が十分に上昇すれば自然に消えます。
- ・超低硫黄軽油以外の燃料を使用した場合は、白煙が発生し続けることがあります。

排気ガスの臭いが従来のディーゼル車と異なります。

- ・触媒を通じて排出ガスを浄化しているため異なった臭いになります。

👉 アドバイス

■アイドルストップシステム装着車

- ・アイドルストップシステム装着車は、アイドルストップキャンセルスイッチが「OFF」の場合、アイドルストップします。その際は、スタータースイッチにてエンジンを再始動させてください。